

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回川越市男女共同参画審議会
開催日時	令和3年8月5日(木) 午後2時00分～午後4時10分
開催場所	市役所 第5委員会室
議長	会長 大橋 稔
出席者	(会長)大橋 稔 (副会長)大森三起子 (委員)猪野晴代 山口日出美 浅見浩子 橋村祥子 瀬川由美子 高橋 巧 舩津和信 矢定夕有子 最首洲子 坂詰靖子 荒木浩子 小林敦子 (14人) (市民部長)宇津木寿子
欠席者	(委員)門田裕子 (1人)
傍聴人	2名
事務局職員 職・氏名	課長 小林玲子 副課長 石井みどり 主査 山田篤 主任 藤澤翔太
会議次第	1. 開 会 2. 部長あいさつ 3. 議 題 (1) 正・副会長の選出 (2) パートナーシップ宣誓制度の状況について(報告) (3) 女性の負担軽減のための支援について(報告) (4) 各種審議会における女性委員の登用状況について (5) 第六次川越市男女共同参画基本計画の概要について (6) 女性の視点からの災害対策について (7) その他 4. 閉 会
配布資料	資料1 パートナーシップ宣誓制度の状況 資料2 女性の負担軽減のための支援《生理用品の配布》について 資料3-1 各種審議会等における女性委員の登用状況一覧表 資料3-2 川越市における女性管理職の割合一覧表 資料4-1 「第六次川越市男女共同参画基本計画」について 資料4-2 「第六次川越市男女共同参画基本計画」概要版 資料5 女性の視点からの災害対策 第1回川越市男女共同参画庁内会議(書面会議)で出された意見

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 開 会 傍聴希望者 2 名</p> <p>2. 部長あいさつ</p> <p>3. 議 題 (1) 会長・副会長の選出 指名推薦により、会長に大橋委員、副会長に大森委員を互選。</p> <p>(2) パートナーシップ宣誓制度の状況について 資料 1 に基づいて説明</p>
事務局	
委員	<p>解消した件数とあるが、その理由は市外転出か、パートナーシップの解消によるものか。また、宣誓の対象を事実婚まで拡大する等、今後の制度の発展についての考えはあるか。</p>
事務局	<p>いずれもパートナーシップの解消によるものである。</p> <p>対象者については、制度実施前のパブコメにおいて、戸籍上は異性だが性自認が同性のカップルが「心の性に基づいて宣誓したい」という意見や、事実婚カップルも対象に含めてほしいという意見があった。県内でもパートナーシップ宣誓制度を実施する自治体が増えており、同性カップルに限定している点は、他の自治体と相互連携する際の検討課題になると考えている。</p>
委員	<p>パートナーの病状説明について医療機関の理解を拡大する等、制度を実施して利益を提供する側として、市はどのような取り組みをしてきたのか。</p> <p>また、宣誓件数は、男女別に示す必要はないと考える。</p>
事務局	<p>夫婦単位で提供する行政サービスがほとんどなく、民間サービスにおける活用状況も現状では把握できていない。事業主や医療機関等へは、制度を実施する際にチラシ等で周知したが、その後の状況を把握することは課題として残っている。</p> <p>男女別の宣誓件数は、参考として示したものである。</p>
委員	<p>宣誓件数を男女別で把握することは有益である。制度の利用しやす</p>

	<p>さについて、戸籍上の性別による偏りがないかをチェックすることが期待できる。</p>
委員	<p>最初に男女別で把握したから今後も男女別で集計する、という慣例化はしない方がよい。男女別の宣誓件数を示すことについては、適宜配慮してもらいたい。</p>
事務局	<p>(3) 女性の負担軽減のための支援について 資料2に基づいて説明</p>
委員	<p>とても良い試みであるが、窓口で渡すときは女性職員が対応する等の配慮をしているのか。</p>
事務局	<p>女性職員が渡すようにしている。</p>
委員	<p>小・中学校のトイレに備える考えはあるか？</p>
事務局	<p>保健室に配備されているようだが、トイレに備えるかどうかについては各学校の判断となる。</p>
委員	<p>大学で配布を行った事例を聞いたが、その際、日時、場所を大々的に周知したため、周囲の目を気にして、その時間以外に問合せがあったようだ。学校での配布は必要だと思うが、本当に必要とする生徒が受け取りやすいように、配慮しなければならない。 まして、大学生よりもっと敏感な小・中学生には配慮しつつ情報提供を行わなければならない。 このような施策は長くやっていくことになるだろうから、ブラッシュアップしていいものにしてほしい。</p>
委員	<p>子どもが親に生理用品を買ってもらえない等の情報は、市役所内で共有して支援につなげられるといい。子どもは買ってもらわないと自分で用意できないため、本当につらい思いをしている。</p>
委員	<p>生理用品を買ってもらえない子どもの情報を根本的な救済につなげてほしい。個の事業だが、総合的な政策に繋がられる。支援の入り口になるという意識でやってほしい。親に頼めないような親子関係や、性教育の問題にもつながる。</p>

委員	女性のみならず男性にも、とても大事な問題だと理解してもらう必要がある。
委員	学校でも、今年度は教育長から性教育の重要性について、ことあるごとに話がされている。
委員	ドイツの留学生をホームステイさせたときに、日本の生理用品の品質に驚いて、ドイツに持って帰りたいと言っていた。それほど安いものではないので、メーカーなどにも働きかけて価格を下げてもらうことや、企業とのタイアップなどを考えてもらいたい。
委員	<p>先の大学については、卒業生が関係している企業が協力していたようだ。</p> <p>企業とのタイアップなどの方向も検討しながら、今後継続できる方法を考えてほしい。</p>
事務局	(4) 各種審議会における女性委員の登用状況について 資料3-1、3-2に基づいて説明
委員	割合の低さの理由は何か。
事務局	審議会等については、関係団体からの推薦や、学識経験者に女性がいないなどの理由によるものが多いようである。
委員	<p>ドラスティックな変容が必要なのではないか。</p> <p>市の職員では、女性部長が2名しかいない。女性を育てる気がないのではないかと思われる。</p>
委員	庁内プロジェクト会議についても「充て職」という理由が多いようだが、どのような構成になっているのか。
事務局	庁内プロジェクト会議については、部長級や課長級の職員の充て職が多い。
委員	庁内プロジェクト会議に参加することが業務評価に関係しているか。
事務局	関係しないと思われる。

委員	このような会議に参加することで、様々な情報に触れたり、刺激を受けたりすることができる。働き方にも影響があると思われるので、今の状況は問題である。
委員	まずは副課長級を増やさないと、将来的に部長が増えない。 人事に関して、男性の職員又は女性の職員の配属を、職員課に要求することはあるのか。また、女性職員がいない部はあるのか。
事務局	人事に関して、性別で要求することはない。女性職員がいない部はある。
委員	女性職員がいないことで、その不便さを感じないことがあり得る。 女性が0人という職場はなくしてほしい。 適材適所、現場の声を聴いた上で、配置するのが望ましい。
委員	女性が働きやすい職場は誰もが働きやすい職場となる。
事務局	(5) 第六次川越市男女共同参画基本計画の概要について 資料4-1、4-2に基づいて説明
委員	計画の概要版を作成しているが、どのように使用するのか。
事務局	概要版は、男女共同参画に関する研修の際等に配布する予定である。
委員	多くの方に周知し、理解してもらうことが大切である。
事務局	(6) 女性の視点からの災害対策について 資料5に基づいて説明。
委員	コロナ禍で災害が発生した場合、市はどのような対応をするのか。
事務局	防災危機管理室で「避難所における新型コロナウイルス感染症対応方針」を定めており、それに基づいて対応する。
委員	新型コロナウイルスに対応した方針が整備された一方で、DV被害者への配慮が疎かになっていないか。人から見えないところを作ってプライバシーを確保することと、避難所利用者の安全を守ることで齟齬が生じていないか。

委員	<p>台風が来ることは事前にわかるので、十分検証しておくことが望ましい。</p> <p>地域において、水害の避難勧告が発令されても、母一人で幼児二人と荷物を持って避難するのは大変であり、避難をあきらめて不安な一夜を過ごした人もいると聞いた。避難するという判断は難しく、アドバイスがもらえるとよいと思った。</p> <p>(7) その他</p>
委員	<p>男性の育児参加が、自分の会社では少ない。周囲に育児休業を取得した人がいたから、取りやすかったという声もあるので、実際に育児休業を取得した人がいることを知ってもらう取組みが必要であると感じている。</p>
委員	<p>育児休業の体験談を集めることはできないか。「最初の一人」になるのはハードルが高いが、「見える化」することができれば、やりやすくなる。</p>
委員	<p>男性の育児休業取得を促進するために、育児休業を取得した人数の公開が義務づけられると聞いている。「見える化」につながるのではないか。</p>
委員	<p>女性の自治会長の割合について話があったが、自治会に参加する女性に対して差別的な意見もなく、活動しやすい。</p> <p>生理用品の配布について、情報が地域住民に伝わっていないように感じた。情報伝達の方法に工夫が必要ではないか。</p>
委員	<p>水害の際の小さい子ども連れの避難について、自治会の班単位で相談できる場合があるので、相談してみてもどうか。</p> <p>土木関係等の審議会では、女性がいないところもある。</p>
委員	<p>災害時の女性の支援については、日ごろの検討や地域の活動が大切になると思う。</p> <p>また、コロナ禍で活動が難しいと思うが、デートDV対策を進めてほしい。</p>

委員	<p>生理用品の配布は1回では終わらないだろうと思われる。特に、子どもにとっては、とても重要で深刻な問題であり、継続していくことが必要と思われる。</p> <p>また、各地域での防災の準備活動が必要である。</p>
委員	<p>女性の幹部が少ないことについて、周りの環境もあるが、女性自身の努力も必要であると思う。</p> <p>また、生理用品について、本当に困っている人に配布されることが重要と思われる。</p> <p>4. 閉 会</p> <p>次回は令和4年2月頃開催する予定</p>